

教育総合センター だより

NO. 172

令和 6. 5. 1



「新たな時代に向けて」

教育総合センター

所 長 嶋 名 雅 之

教育総合センターは、大きく生まれ変わりました。

これまで当センターでは、学び支援課と学校 ICT 推進課の 2 課により、教職員と学校に関わる方々の研修やさまざまな教育課題に係る研究、GIGA スクール構想の実現に向けた整備・利活用などに係る業務などを行ってきました。一言でいうと、教職員と学校に関わる方々への支援を中心とした業務を実施してきました。本年度は、こども教育支援課が仲間に加わるとともに、学びの多様化学校設置準備担当が新設されました。これにより、子どもへの支援も行う機能が加わったことになります。

学び支援課では、教職員や学校に関わる方々への研修の実施や、個別最適な学びと協働的な学びを推進するための研究などに取り組んでまいります。また、新規事業としてデジタル採点システムを市立中学校・高等学校に導入し、日々のさまざまな教育活動と並行して行っているテストの採点業務に係る負担感を軽減し、子ども一人ひとりに向き合う業務に一層注力できる環境を整備してまいります。

学校 ICT 推進課では、教育 ICT 環境の一層の充実と適正化を図るため、子ども及び教職員の ICT を活用した学習基盤を整備します。また、「尼崎版 GIGA スクール構想」も 3 年目を過ぎ、多くの学校で ICT を活用した学習活動が展開されており、まずは授業などで ICT 機器を使ってみるといった段階(ステップ 1)はおおむね達成したものと考えています。本年度は、1 人 1 台端末を効果

的に活用し、STEAM 教育モデル校事業や未来の学び研究指定校事業を推進するなど、次のステップ(ステップ 2・3)に向けた取組を学校現場とともに進めてまいります。

こども教育支援課では、不登校対策支援及び教育相談体制の充実を図ってまいります。特に本年度は、不登校の未然防止(発達支持)の観点から、教室での学びに「しんどさ」を抱える児童生徒の居場所として「校内サポートルーム・エリア」の整備を進めてまいります。また、学校などを基盤に関係機関と連携し、子どもの思いに寄り添って福祉的援助活動を行うスクールソーシャルワーカーを増員し、支援が必要な子どもの早期発見・支援、課題の困難化・重大化予防への取組を強化してまいります。

そして、学びの多様化学校設置準備担当では、本市における学びの多様化を推進するための「学びの多様化学校」(校種は中学校)の設置に向けた準備を行います。「学びの多様化学校」は、不登校の子どもたちの個々のニーズに応じた教育を実施する役割だけでなく、今後全国的に展開されるであろう「学びの多様化」を推進していくための「フラッグシップ校」としての役割を持つ学校です。令和 8 年 4 月の開校に向けて全力で準備を進めてまいります。

本年度も、本市の子どもたちの成長と本市の教育の発展に貢献できるよう努めてまいります。引き続き、当センターの事業に対してご支援ご協力をお願いいたします。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

教育総合センターは、「学び支援課」「学校 ICT 推進課」「学びの多様化学校設置準備担当課」「こども教育支援課」の4課体制で、研修・研究の充実とともに、学校における教育の情報化や学びの保障に向けた総合的な支援、不登校児童生徒への支援、子どもに関する教育相談などを推進してまいります。

* 学び支援課

学び支援課では、研修担当が教育関係職員の研修や研究部会の運営、自主研究グループの支援を担当します。また、企画担当が教育委員会事務局職員等の研修を担当します。

1 研修担当

今年度から5年目となる尼崎市教育振興基本計画の基本方針である「未来志向の教育」「個の尊厳や人権の尊重」「家庭・地域社会との連携」に基づき、次代を担う子ども達の学びを支える教職員の資質向上を図るため、経験年数や職務・職階に応じて、体系的・組織的な研修を実施いたします。また、いじめ防止に関する研修、体罰防止研修も実施いたします。

(1) 教職員研修

研修体系に基づいた各種の研修を実施することにより、教職員の資質と指導力の向上を図ります。主に基本研修（教職年数や職務・職階に応じた研修）と専門研修（教育課題等への対応、指導力の向上など）に分かれています。

○初任者研修（法定研修）の充実

授業研究を中心に、道徳教育、人権教育、情報教育、防災教育、安全教育、学級経営及び接遇に関することなど、教員として必要な基礎を身に付けることを目指します。そして初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように、尼崎市の地域について学習できる研修を実施します。初任者研修をさらに充実するものとして、1年目研修に引き続き2年目、3年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね、連続する3年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指します。

○中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実

中堅教諭等の実践力をより高めるとともに、教育課題を研究することにより専門性を深めます。共通研修により、尼崎の課題や展望を見つめ、中堅教員としての意識を高め、今後の教育活動に生かしていきます。

○英語教育推進事業

コミュニケーション重視の授業改善に向けた教員研修を実施することで、4技能5領域をバラ

ンスよく高めるための指導の工夫を行い、コミュニケーション中心の授業を推進することのできる教員の育成を目指します。

(2) 児童生徒文化充実支援事業

児童生徒の個性や能力の伸長と学力の向上を図るため、小・中学校の教科等研究会の実践的な取組を支援します。

なお、児童生徒文化充実事業の研修に係る講師謝金の支払いは、学び支援課からの直費となります。講師謝金支払いは、講師謝金申請書に必要事項を記入し、研修実施1か月前に学び支援課に送付してください。研修終了後、約1か月後に講師指定口座にお振込みいたします。

(3) 研究部会の運営

当面する教育課題についてその実態を十分把握し、実証的な研究を深め、教育実践に役立つ研究成果を得て、「活用」に配慮した本市教育の充実を図るため、以下の研究部会を設けます。

- ・エビデンスに基づく教育実践研究部会
- ・体力向上研究部会
- ・探究的な学習研究部会

(4) 学びの先進研究サポート事業

教員等で構成された自主研究グループに対して、講師招聘に伴う報償費など研究の充実を図るための活動を支援していきます。

また、「先進地域への短期派遣研修」の支援も行います。具体的には、派遣教員の希望に応じ、先進的研究に取り組む学校園等において、5日間程度の継続的な研修を行うための旅費を支援するものです。

(5) デジタル採点システム活用事業

全ての市立中・高等学校の定期試験等に採点システムを活用し、教職員の業務の効率化及び負担軽減を図るとともに、生徒一人ひとりに寄り添った教育に取り組むことを目指します。

(6) 研修をすすめるにあたって

研修には、各校/園の実態に即した「校/園内研修」をはじめ、「教育総合センターの計画的に設定された研修」、その他各教科研究会が主体となって企画・運営されている取組等があります。それらが補完、連携し合って教員の意欲や資質向上を促していけるよう、研修担当がサポートしていきます。

2 企画担当

所属の予算管理、文書管理、施設維持管理に加え、教育委員会事務局職員を対象とした職員研修と社会教育主事講習等社会教育主事の養成事業、学校図書ボランティア育成事業、特別支援ボランティア養成事業を担当し、教育関係者の学びを支援します。

☆☆☆ 教育総合センターの事業の概要 ☆☆☆

* 学校 ICT 推進課

新しい学習指導要領で「学習の基盤となる資質・能力」の一つとされる「情報活用能力」の育成を始め、文部科学省が進める児童・生徒 1 人 1 台端末を整備する「GIGA スクール構想」への対応など、学校における教育の情報化を支援します。

(1) 教育 ICT 環境の整備

「分かりやすい授業の実施と児童生徒の情報活用能力の育成」、「セキュリティ強化」、「校務の情報化による業務の効率化」という視点で教育ネットワーク「AMA-NE T」を更新し、教職員 1 人 1 台端末の配備等の教育 ICT 環境整備を行っていきます。

(2) 情報教育・教育の情報化の推進

情報モラル教育やプログラミング教育などに加えて、教科横断的に「情報活用能力」を育むための情報教育の在り方を研究・推進していきます。また、各学校における ICT 機器の活用を促進するなど、教育の情報化を一層図っていくため、次のような研修を実施していきます。

- ・教育用コンピュータシステム管理担当者研修
- ・ICT 活用研修講座
- ・校務支援システム研修講座
- ・情報モラル・セキュリティ研修講座
- ・プログラミング教育研修講座 など

(3) 学校ホームページ関係

各学校園からのホームページ更新申請を受け付け、確認・処理し、インターネットへの公開を行うとともに、効果的な情報発信を推進します。また、学校園のホームページ作成を支援します。

学校園のホームページによる情報発信は、年々増加傾向にあり、今後も保護者や地域と連携した教育活動を推進できるよう、情報発信の支援をします。

* 学びの多様化学校設置準備担当課

尼崎市における学びの多様化学校の令和 8 年 4 月開校に向けて、関係各所と連携を取りながら、設置準備を進めています。

* こども教育支援課

・誰一人とり残されない学びの保障に向けた不登校児童生徒への総合的な支援を目指します。

・こども教育支援センター「いくしあ」に所属し、教育・福祉・保健との連携し、児童生徒への切れ目

・教育相談カウンセラーやスクールソーシャルワーカーを所管し、心理・福祉の面から学校をサポートし、教育相談体制の強化を目指します。

1 不登校対策支援

(1) 不登校対策の啓発研修の実施

不登校支援にかかる学識経験専門家による研修を実施し、教職員の不登校児童生徒に対する対応力の向上を図ります。

(2) ハートフルフレンドの派遣

ひきこもり傾向(自宅から外出がしにくい)の児童生徒や学校のサポートルーム等に登校している児童生徒を対象に、大学生や社会人をボランティアとして派遣し、自立性の涵養や社会性の伸長を援助します。

(3) 校内サポートルーム・エリアの設置推進

不登校には至らないものの、不登校傾向にある児童生徒も多く存在するため、未然防止の視点から教室での学びに「しんどさ」を抱える児童生徒の居場所の整備を進めます。

(4) 教育支援室「ほっとすてっぷ」の運営

不登校児童生徒を対象として、学校以外の学びの場及び居場所として運営するとともに、不登校児童生徒の個々の状況に合わせた段階的な支援を行います。

(5) 学習支援室「サテライト教室」の運営

不登校児童生徒の身近な居場所、学習の場として、地域の生涯学習プラザ等を活用して、こどもの自立支援員が学習支援等を行います。

2 教育相談体制の充実

(1) 教育相談カウンセラー

心理士が保護者や児童生徒と面談相談、発達検査等を行うことで、学校等の関係機関と連携しながら、適切な支援につなげていきます。

(2) スクールソーシャルワーカー (SSW)

不登校、いじめ、発達の課題、貧困、虐待、こどもを取り巻く様々な課題は多様化、複雑化しています。スクールソーシャルワーカーは、そのような課題の原因・背景が多岐にわたることを踏まえた上で適切にアセスメントを行い、支援の目標や方針を定め、多職種の専門家や関係諸機関につなぐ等、「社会に開かれたチーム学校」を支える重要な役割を担っています。

(3) 匿名報告アプリ (standby)

いじめ、不登校に関する問題や悩み事について、生徒にとって身近なアプリを活用し、教育委員会に匿名で報告・相談ができます。

教育総合センター 事務分掌表 令和6年5月1日現在

教育総合センター所長 嶋名 雅之

学び支援課長 山田 雅行	
研修担当	TEL6494-3155 (Fax6494-3151)
※教職員の研修及び研究助成、研究部会の運営 ※教育情報収集・整理・提供 ※情報誌の発行	
係長	吉向 良太
指導主事	遠山 修司
指導主事	中村 匡孝
指導主事	西田 篤司
行政事務員	西川 嘉彦
行政事務員	平家 祐孝
行政事務員	中 俊弘
事務補助員	佐野 祥子
企画担当	TEL6494-3155 (Fax6494-3151)
※教育総合センターの運営・計画調整 ※教科書センターの管理	
課長補佐	林 照子
主任	宇田 元則
行政事務員	松浦かおり
事務補助員	北森 敏恵
学校ICT推進課長 岡西 勝義	
学習担当	TEL6480-5178 (Fax6494-3151)
※教育の情報化推進(ICT活用) ※情報教育推進	
係長	吉田 満
指導主事	中村 大輔
行政事務員	山下 陽一
行政事務員	米田 浩
事務補助員	向井 裕香
システム担当	TEL6480-5178 (Fax6494-3151)
※教育の情報化推進(ICT活用) ※情報教育推進	
課長補佐	奥村 剛
係長	後藤 正樹
主事	坂根 亘
再任用	小原 常哉
学びの多様化学校設置準備担当課長 石井 郁樹	
準備調整担当	TEL4950-5252 (Fax6494-3151)
※学びの多様化学校の設置準備・調整	
係長	池田 尚史
係長	下飼 英明

こども教育支援課長 福田 晃大			
企画調整担当 TEL6409-4995 (Fax6409-4299)			
課長補佐	上原 豊	書記	山岡 敬之
不登校担当 TEL6409-4995 (Fax6409-4299)			
係長	畑 靖宏	指導主事	富田 学
自立支援員	田野 香代	大西 留美	市川 勉
	前窪 純司	荒木 伸子	西井 一雄
	長田 光司	佐藤 喜代子	澤嶋 伸
	北垣 裕之	大川 泰三	河原 毅
教育相談担当 TEL6409-4995 (Fax6409-4299)			
係長	日高 絵里子	指導主事	三河 聡
教育相談 カウンセラー	奥田 佐恵	田中 優喜	太田 有希
	長谷部 さやか	小西 晴奈	高橋 直人
SNSカウンセラー	沖末 めぐみ	田中 義人	
スクール ソーシャル ワーカー	竹下 拓子	大台 賢史	黒光 さおり
	李 慶 姫	中島 知奈美	小路 久仁子
	平川 みゆき	山根 麻衣子	川島 拓斗
※自立支援員、教育相談カウンセラー、SNSカウンセラー、 スクールソーシャルワーカーについては、行政事務員または再任用職員			

教育情報コーナーのお知らせ

★教育情報コーナーのご案内 (担当 松浦)

教育総合センターでは、ひと咲きタワー3階『教育情報コーナー』において図書の新着貸出しをしています。

- ・原則として、貸出は6冊2週間です。
- ・庁内メール便による貸出・返却もできます。

《庁内メール便による貸出方法》

- 1 教育総合センターホームページを開く。(AMA-NET機に限る)
- 2 トップページにある【図書貸出リスト】をクリック。
- 3 【教育情報コーナー図書リスト】をクリック。
- 4 リンク先のエクセルファイル (tosyolist2) をデスクトップなどの任意の場所にダウンロードする。
- 5 ダウンロードしたファイルを開き、目的に合った図書を検索する。「編集を有効にする」「コンテンツの有効化」の表示があればクリックする。
- 6 希望の図書が決まったら【資料貸出票はこちら】をクリック。
- 7 「申請フォーム」画面に必要項目を入力して【送信】をクリック
- 8 受付終了後、本を送付します。

★教育総合センターの場所および交通アクセス

住所：尼崎市若王寺2丁目18番3号

- ・「あまがさき・ひと咲きプラザ」（旧聖トマス大学跡）の最も高い建物「ひと咲きタワー」に教育総合センターがあります。本市の北東部に位置し、最寄りの阪急園田駅から、約1.1Kmの距離にあり、徒歩で約15分です。(受付：2階事務室)
- ・阪神バス（11系統 阪急園田駅南側～JR尼崎駅北側）が北側道路（県道西宮豊中線）を概ね1時間に3本運行しており、百合学院前で下ります。

阪急園田駅南側～百合学院 所要時間 約 3分
JR尼崎駅北側～百合学院 所要時間 約 12分

開館時間ご案内	発行 尼崎市立教育総合センター（尼崎市若王寺2丁目18番3号）
開館時間ご案内 平日 午前9時～午後9時	発行者 嶋名 雅之
	題字 岡本 元興（元尼崎市教育委員）